

都市計画変更案に対する区市長意見 (大深度トンネルの技術検討に関する意見を抜粋)

【練馬区】

- ・地下水に与える影響についての更なる検討と防止策の実施および監視を行うこと
地下水の保全対策については、地下水流動保全工法など更なる調査、研究を行い、万全の対策をとること。また地下水への影響については、今後の各段階において、十分な監視を行い、データの公表を行うとともに、必要に応じた対応を行うこと。
- ・外環本体の構造の十分な安全性の徹底を図ること
外環本体の構造の安全性については、専門家を含めた十分な検討を行うとともに、災害時を含めた安全性の確保の徹底を図ること。
- ・外環本線を走行する車両への十分な安全対策を行うこと
外環本線を走行する車両について、交通事故の防止に向けた十分な安全対策を実施すること。
- ・工事による影響について十分な配慮を行うこと
外環の工事については、10年を要するとの想定がされており、一般の道路建設工事と比較すると相当大規模な工事となる。したがって、工事方法や工事車両の対策については、十分に検討し、影響を受ける区民に説明を行うこと。特に、生活道路の分断や一般道への工事車両の通行に伴う安全性や騒音、振動等については十分な対策を行うこと。
- ・工事期間の短縮、工費の効果的な執行に努めること
工事方法などについては十分な検討を行い、期間の短縮や安全確保を前提とした工事費の効率的な執行について可能な限り努めること。

【杉並区】

- ・善福寺池をはじめ、湧水や地下水などの水環境について、その形成要因、地形、地質的な関係、貯水量、深さ等について広範囲な調査を行うこと。また、善福寺池の水位、水質並びに善福寺川へ流れ出る水量など、事業前、事業中、事業後と継続して現地調査を行うとともに、調査結果を区に提出すること。

また、善福寺周辺のボーリング調査について、調査箇所を増やし、地下水解析モデルの妥当性を検証するなど、環境影響評価を見直すこと。

さらに、区において、事業の調査内容を検討する際には、最大限の協力をすること。

- ・「地下水流動保全工法」について、これまでの施工事例を検証し、有効性のデータを示すとともに、工事に対する信頼性を確保するために、広範囲な調査と、規模や工法の詳細を具体的に明示すること。
さらに、モニタリングシステム等の適切な対策を行うこと。
- ・水環境に対する工事の影響について、類似事例をよく調査し、対策を講じること。

【武蔵野市】

- ・課題解決に向けた丁寧な対応を行うこと

地下方式の構造については、環境影響評価準備書等では環境面や安全面について評価基準を下回り、一定の見解が示されているところであるが、地下水への影響や災害時等における安全面での知見が少ない状況にあって、それらに対する見解が十分に納得できる根拠となっていないため、今後も環境や安全に対するさらなる慎重な検討を求める。また、今後の事業着手に至るまでのプロセスや市の要望等をどのように実現していくかの方法についても明らかにされたい。

【三鷹市】

- ・深層地下水の水質汚濁と水枯れ防止策の実施

本市の上水道事業については、水源の約6割を深層地下水に依存しており、中央ジャンクション及び東八道路インターチェンジ周辺には、深層地下水を水源とする深井戸が数箇所ある。地表式又は堀割式、地下式等の道路構造により、地上から50m前後に位置する第一帯水層が分断され、揚水量低下などの影響発生も予想される。地下水脈の保全対策としては、地下水流動保全工法を採用し地下水位の変動を低減するとしているが、実用されている件数が少ないことや保全効果の持続性という観点からも、実績としては不十分である。そのため、信頼できるデータを示すとともに、更なる調査・研究を進めること。

- ・災害時における構造物本体の安全性の確保

地下構造物である大深度トンネルや地上構造物である中央ジャンクション及び東八インターチェンジについては、地震時や水害時、地下水位上昇による浮上等災害時における構造物本体の安全性を確保すること。

- ・中央ジャンクション部の防災拠点化や救急対応の実施
交通事故や車両火災時の対策設備や救急対応について、具体的なシミュレーションを示し市民の不安に応えるほか、中央ジャンクション部・換気所等を利用し、災害に備える防災拠点・避難場所・医療拠点等の整備について推進を図ること。
- ・ジャンクション周辺の生活道路分断や工事車両に対する安全・安心対策
外環の建設には10年以上を要するとしており、これにより、中央ジャンクション周辺は、巨大な工事現場となり、生活道路の分断や工事車両の通行による市民の安全・安心対策が重要となることを踏まえ、万全の対策を講ずること。

【調布市】

- ・長距離トンネルとなる外環の特殊性から、工事の長期化による市民生活への影響が危惧される。このため、生活動線の確保とともに工事用車両の競合運転を回避するなど、十分な安全対策や環境対策を努めるよう求めるものである。また、工事の内容及び作業状況等についての十分な情報提供を行うなど、周辺住民に対する積極的かつ丁寧な対応を求めるものである。
- ・外環は、大深度地下による長距離トンネルであることから、トンネル内での災害時の避難など安全性の確保が懸念される。このため、これまでのトンネルに関する技術基準などに留まらず、起こりうる様々な状況を想定し、避難設備や換気設備を適切に配置するなど、総合的な防災対策及び環境対策を求めるものである。

【狛江市】

- ・大深度トンネルが地下水等の環境に及ぼす影響や地震などの災害や事故発生時の安全性について十分な検討を行い、市民及び沿線住民への情報提供を要望いたします。

【世田谷区】

- ・環境・景観への配慮について
整備にあたっては、野川及び国分寺崖線等における緑と水の自然環境と景観への十分な配慮を行うとともにジャンクション等の構造を含め地上部区間周辺への影響を極力小さくすること。